

【心の栄養剤N.054】

夫婦円満の秘訣・・・「新亭主関白論」

参考)言葉の意味 亭主とは・・・「お茶を振る舞う人」
関白とは・・・「天皇の次の人」

★妻の進化(愛情度)チェック



・朝の様子編

朝の様子です。新婚の時、妻は私より早く起きて、着替えて台所に立っていました。
5年目、私よりも早く起きるけどパジャマのまま。
10年目、髪の毛は爆発状態、自分だけ朝食を食べています。
15年目、起こしても起きない。起こせば怒る。
20年目、私より早く起きることはなくなる。
25年目、早く起きて台所にいる。もちろん夫の私が・・・。

・玄関先の見送り編



新婚当初、玄関先まで来て、「あなた、行ってらっしゃいチュッ」でした。
5年目、玄関先まで出てくるのは給料日だけになりました。
10年目、出掛けようとするゴミ袋と夕食の材料を書いた紙を手渡されます。
20年目、出掛けようとするベッドの中から「今日は生ゴミの日だからね」という声がします。
25年目、「行ってきます」と言うと、トイレの中から「まだいたの?」という声がするようになります。

・食事編



食事も変化します。新婚当初はほとんどが手作りでした。
5年目、店屋物が週一のペースで出てくる。
10年目、「チーン」が多くなる。
15年目、夕食が無いこともある。「いつ帰ってくるか分からないからよ」と言われる。
20年目、朝食が青汁だけになる。
25年目、自然食品ばかりになる。味はマズイ。

外食するときも新婚の時は「あなたと同じものでいいわ」と言っていました。
5年目、私のメニューより高いものを選ぶ。
10年目、大声でホールスタッフを呼ぶようになる。
15年目、食べ残したら「これ、犬にやるから」とテイクアウトを要求する。
20年目、犬のエサと思っていたら翌日の弁当のおかずになる。
25年目、自分だけ選んだらメニューを閉じる。

この劇的に進化する家庭の中の天皇「かみさん」
に亭主である 関白大臣は、どうあるべきかが
・・・「新・亭主関白論」です！

★従来の亭主関白は・・・段位であらわすと

- 初段、「買い物に行った時、荷物を持つことを断ることができる人」
- 二段、「ゴミ出しや風呂掃除を断ることができる人」
- 三段、「意見が二つに分かれたとき、自分の意見を通すことができる人」
- 四段、「隣がピアノを買った時『うちはピアノがでいい』と言い切れる人」
- 五段、「妻や子供に正座をさせて説教ができる人」
- 六段、「帰宅したら妻や子供に『おかえりなさい』と言わせる人」
- 七段、「妻と外で待合わせをして2時間遅れて行っても妻に文句を言わせない人」
- 八段、「気に入くないことがあったら食卓をひっくり返すことができる人」
- 九段、「喧嘩した時、妻に『出て行け!』と言える人」
- 十段、「奥さんから『あなたのような亭主関白は見たことも聞いたこともない』とお墨付きをもらえる人」です。

★新・亭主関白は・・・



- 初段、「結婚して3年以上経っても妻を愛している人」ここで脱落してる人が結構います。
- 二段、「家事手伝いが上手な人」
- 三段、「浮気をしたことがない人、ばれていない人」ここでかなりの人が脱落。
- 四段、「レディファーストを実践している人」
- 五段、「妻と手をつないで散歩ができる人」
- 六段、「妻の話を真剣に聴くことができる人」この辺から難しくなります。
- 七段、「嫁姑問題を一夜にして解決できる人」
- 八段、「『ありがとう』をためらわずに言える人」
- 九段、「『ごめんなさい』を恐れずに言える人」
- 十段、「『愛してる』を照れずに言える人」です。



ずばり、亭主には2種類しかなく、一つは既に妻の尻に敷かれている亭主もうひとつはやがて尻に敷かれる亭主。そのどちらも100%尻に敷かれるわけですから、如何に上手に妻の尻に敷かれるか、これを考えた方が、家庭内生存率が高まります。「いや、俺はそんなのはいいよ」と思われる人がいると思いますが、そういう人はいずれ捨てられるとの事(怖)



全国亭主関白協会代表
天野 周一氏講演より

私事ではありますが・・・今年10月が結婚25年(銀婚式)でしたのでこの話が、何とも人事とは思えず今回の「心の栄養剤」とさせていただきます。

私自身25年の結婚生活を振り返ると、よく頑張ってきたというか~切り抜けてきたという感想です。26年目からは「新・亭主関白」の段位を取れるよう日々精進しなければ・・・ガンバ!!

P.S.

親と一緒に暮らしたのは20年あまりで、いつの間にか妻と暮らした時間が長くなりました。何はともあれ、元々血もつながない他人だった者同志~数十年暮らしていくということ自体が奇跡だと思う今日この頃です!

